



御旅社周辺の閉店、改装

茶屋町の当宮御旅社周辺で今春、新規店舗の開店や、改装が相次ぎます。

まず三月一日から梅田エラストで大幅な店舗の再編が行われ、新規出店五店、改装十店のリニューアルとなりました。

三月二十八日には、昨年九月からリニューアル工事を続けていた、阪急三番街に「梅田フードホール」という飲食スペースが生まれ、これまでよりもっと開放的な飲食空間となりました。全国初出店、関西初出店を含む十八店舗からなります。

四月三日には、ホテルユニゾ大阪梅田が開店。また今月中頃に建物としての竣工を迎える芝田2丁目の弥生会館跡地には、六月にホテルヴェスキオ大阪が出店される事が決まりました。

四月二十日には、当宮御旅社のすぐ北側に、スポーツ用品のミズノが旗艦店を開店されます。ミズノは発祥の地が茶屋町の隣町である芝田町あたりで、まさに錦を着て故郷へ帰るが如く、遠目にも目立つ鮮やかな青の建物が竣工しました。御旅社界隈は今後更に賑やかになりそうです。

森琴石画伯のバラ屋敷

明治三十一年(一八九八)四月。現在の堂山町の西。恐らく今の阪急東通商店街と新御堂筋が交差する横断歩道のあたり。このあたりに正法寺というお寺がありました。そのお寺の一角を借りて、当時、大阪の画壇の中でも南画の総帥と呼ばれ、また銅版画家としても著名であった、森琴石画伯が居を構えられてから今月で百二十年となります。

戦災の為、詳しい事は分かっていない事も多いのですが、当時まだ珍しかったバラ(モダンローズ)の花を八百鉢も育てていた事から、地元の人からは薔薇屋敷とも呼ばれていたそうです。

当時のこのあたりはまだのどかな田園風景もあり、文人墨客の好む地であった事から、芸術家が多く住んでいたようで、森琴石画伯もその一人でした。

百二十年経ってすっかり様変わりしましたが、四月末になると明治の世からこの梅田の地にはバラの花の香りが漂っていたようです。

ウメ輪紋ウィルス防除のお願い

花から新緑へ移るこの時期。アブラムシが媒介するウメ輪紋ウィルスが年々その被害規模を拡大しております。感染すると梅は伐採しなくてはならず、このままでは春に梅を見る事が出来なくなるかもしれません。梅の木をお育ての方は、アブラムシがつかないように、消毒殺虫の防除活動に何卒ご協力下さい。

災害義捐金等ご報告

平成二十九年四月から今年三月まで当宮御旅社の社頭で募っております、東日本大震災、並びに熊本地震に対する義捐金ですが、皆さまのお陰をもちまして、一〇五、二三八円の義捐金が集まり、これまでもお送りさせて頂いています、当宮ともご縁があり、また被災地で特に被害の大きかった、岩手県大船渡市綾里地区の天照御祖神社さま、宮城県石巻市の羽黒山鳥屋神社さま、宮城県亘理郡亘理町の川口神社さま、熊本県の各神社(阿蘇神社、豊福阿蘇神社さま等)にそれぞれご送金させて頂きました。

またその他災害に対する御見舞金としてご寄付頂いた分につきましても、ご寄付頂きました方のお名前を日本赤十字社の活動資金としてご送金させて頂きました事、併せてご報告させて頂きます。

皆様のご協力誠に有難うございました。

今月の暦

【祭礼】 神武祭(三日)：神武天皇崩御の日 神事のみ
明祭(廿日)：道真公の冤罪が晴れた日 神事のみ

【節気】 清明(五日)：気候明るく清々しい頃
穀雨(二十日)：田畑の準備が整い春雨降る頃

【雑節】 春の土用(四月十七日～五月四日) 土掘りは遠慮

【大安】 四月一日、七日、十三日、十八日、二十四日、三十日

【祝日】 昭和の日(二十九日)、休日(三十日)

網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主) 白江 秀知

